

## 特集

# 芸術・文化の秋

— 大口町文化協会 —

一年のうちで最も過ごしやすい季節がやってきました。芸術・文化の秋到来です。

今回の特集では芸術・文化の秋にちなみ、大口町文化協会をご紹介します。

## 社会教育の拡充めざして

大口町文化協会は、総合福祉会館（現中央公民館）竣工とともに、昭和54年4月に発足。それまで、各地区の公民館でおこなわれていた文化活動団体を社会教育や生涯学習の観点から町が積極的に支援しようと設立されました。

設立当初は園芸クラブ、読書クラブ、民謡クラブ、囲碁クラブ、謡曲クラブ、民謡クラブ、詩吟クラブの計7つのクラブで成り立ち、会員数は設立3年後の昭和57年に251人との記録があります（大口町史 昭和57年



▲昨年の作品展（書道クラブ）

2月発行）。それから37年たった現在、クラブ数は23、会員数は約480人に増え、より多種多様で活発な活動をしています。

## 趣味と仲間づくり

現在の文化協会の活動について、文化協会会長2年目の吉川弘雄さん（ダンスサークル大口代表）にお話をうかがいました。

**吉川さんが、ダンスサークル大口に入られたきっかけを教えてください。**

— 現役時代は仕事人間で、会社と自宅の往復のみで、これといった趣味もありませんでした。定年退職後は、あり余る時間を夫婦で一緒に趣味で過ごしたいなあ。知り合いが社交ダンスをやっていたので、これなら夫婦で一緒に時間を過ごせると思いました。



▲昨年の作品展



▲大口町文化協会会長 吉川弘雄さん

現在入会10年目です。最近、日本一周のクルーズに夫婦で参加し、船の上で一緒にダンスをしましたよ。  
**素敵ですね。ダンスは、男女一緒に楽しめ、また体も動かして心も体も健康になれるそうですね。活動をしていてよ**



▲一昨年の芸能発表会



▲昨年の作品展



▲囲碁クラブ

「**かたがと思っているのは何ですか？**」

「会社をいたたきときは考え方が180度変わったことです。会社で長年過ごしていると、会社の利益が第一。「上から命令されて、その通りに動く」というのが当たり前。ですが、いったん組織を離れたら上下関係は一気に解消。地域活動でも、サークル活動でも役員はお願いする方です。みんなの意見を聞きながら自分が調整して回るといふ立場です。それがかえってよかったなと思います。サークル活動で会員が増えたり「長く続けてくださいね」と言ってもらえたりすると、とてもうれしく、やりがいを感じます。会社の中では感じられなかったことです。

「**なるほど。価値観の切り替えは難しくもあり、大切なことでもありませんか。活動する中で大切にしていることは何ですか？**」

「サークル活動で一番大切なのは人間関係です。楽しみを求めて来られる方がほとんどですから、人間関係の雰囲気が悪いとやめてしまいます。メンバーは引退後の方がほとんど。年齢的に性格は変えようがありませんから（笑）、その人の長所短所を把握し、いかに長所を最大限に生かしてもらうかを考えます。そのために自分がい

ると思っています。

「**仲間づくりに来られている方が多くいらっしゃるのですね。趣味を通じて一生おつき合いたいという人間関係が築けると最高ですね。**」

「文化協会は、お茶や生け花、詩吟などの伝統芸能が中心で、知識を身に着けるという性格が強いものでしたが、現在はフラダンスや大正琴などの新しい趣味もたくさんあり、余暇を楽しく過ごそうという趣旨が変わってきています。川柳や俳句などは、最近テレビでも楽しい講座があったりして親しみやすくなってきました。若い方にも興味をもってもらってどんどん入会していただきたいです。

「**いろいろな世代の方に興味を持ってもらってクラブ数も増えればいいなと思います。**」



▲ダンスサークル大口

# 大町文化協会 秋の文化祭

文化部  
作品展 中央公民館集會室  
11月5日(土)・6日(日)

川柳クラブ・俳画クラブ・芙蓉句会・大町町古美術友好会・書道クラブ・水彩画クラブ・俳句クラブ・読書クラブ・茶華道クラブ・その他自主サークル

文化祭には、床の間用の生け花と、現代風な自由花の2種類を出品します。お花は生きているものなので、自分自身の思いを表現できる芸術です。年配の方から若い方まで幅広い世代の方に見ていただいて、日本の伝統文化の生け花に興味をもってもらいたいです。



茶華道クラブ代表 井上豊子さん

大町文化協会は、文化部と芸能部に分かれ、年に1回発表会をおこないます。

芸能部  
芸能発表会 町民会館  
11月13日(日)

大正琴クラブ・グリーンコーラス・歌謡同好会・もくせいのかい・平成民歌クラブ・豊洲五民謡同好会・大町民謡会・こざくら会・若鮎会・日本太鼓研究会・ダンスサークル大町・詩吟クラブ

第31回国民文化祭・あいち2016  
愛知県文化協会連合会西尾張部  
芸能大会 町民会館  
11月27日(日)

芸能大会は、毎年10市町村が持ち回りで開催しています。第41回となる今年は10年ぶりに大町町にて開催。大町町からは歌謡同好会が出演します。  
※詳しくは18ページをご覧ください。

歌謡同好会 「各地区にあった歌のサークルが『歌謡同好会』として文化協会に加入して32年目になります。現在7つの支部(上小口、下小口、竹田、河北、余野、豊田、ちとせ会)に分かれ、楽しくみんなでおしゃべりしながら歌の練習をしています。『人の批判はNG』をモットーに、人

の歌をきいて新しい歌や歌い方をそれぞれが勉強します。歌の良いところは、嫌なことがあっても気が晴れること。腹式呼吸も健康にいいですよ。



▲歌謡同好会 上小口の皆さん

西尾張部芸能大会では、女性ソロで『夜叉』、男性ソロで『剣山』、デュエットで『たこやき日和』を披露します。



歌謡同好会代表 近藤邦幸さん

文化協会の作品展や芸能発表会をぜひ一度見に来ていただきたい、自分に合う活動を探してみてください。きっと興味もてる趣味が見つかると思います。

同時に豊洲五民謡同好会、こざくら会の皆さんの素晴らしい踊りが歌を盛り立ててくださいます。現在、発表会に向けて猛練習中。ご期待ください」

## 取材にて

平均寿命が80才を超えた現代、現役引退後の人生も20年から30年たっぷり楽しめます。楽しく長生きするには心も体も健康第一。気の合う仲間と楽しく趣味を続けることが心と体の健康づくりに役立ちます。文化協会は身近な場所で気安い仲間と楽しく活動しているものばかり。決して皆さんプロ級の腕前から始められたわけではない、やはり趣味と仲間が生活になくてはならないものになるからでしょう。

吉川会長が「現役時代の価値観を転換することが第二の人生には大切」とおっしゃっていたのが印象的でした。「ちよっとしたきっかけで入会を決められる方が多いです。始めは時々でもいいので無理なく参加していただきたいです」とおっしゃっていました。ぜひ一度発表会をのぞいてみて、気軽に始めの一步を踏み出してみてください。